

令和6年度小松市立日末小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応 <ul style="list-style-type: none"> ・1か月に1回以上児童理解の会を開き、全職員で児童の様子についての情報交換を行い共通理解を図る。 ・児童の実態に応じた「いじめアンケート」を作成し、学期に1回実施する。 ・いじめアンケートの実施に合わせて、学級担任が児童の面談を行う。 		
特別活動	学級目標を軸にしたよりよい学級・学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの目指す姿を学級目標として掲げ、目指す姿に近づいているかを毎学期末に各学級で振り返る。 ・各行事の際にはそのねらいを児童と共有する。そのうえで、自分たちの学級目標にある姿に近づくための具体的な行動目標やその行事の中でできることを学級で話し合い、実践し、行事の後に検証する。 ・年間を通してたてわり活動を行い、学年をこえた関わりを通して、学年に応じた児童の役割の自覚を促す。 		
道徳教育	道徳教育の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳推進教師による校内研修を行い、児童が物事を多角的・多面的に考え、人間理解や他者理解を深め、さらに、自分の考えを深められるような発問や問い返しを吟味し、授業で実践する。 ・年に一回以上、道徳の公開授業を実施し、家庭との道徳教育の共有をはかる。 		
特別支援教育	一人一人を大切にされた教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学級担任や教科担任は、UDを意識した授業づくりや学級づくりを行う。 ・児童理解の会や特別支援校内委員会を定期的に開催して、専門相談員等の専門機関との連携を図りながら、生活や学習上の困難を少しでも改善できるように取り組む。 		
読書教育	読書の質と量の向上につながる読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・個人が記録ファイルをもち、年間の目標冊数のめあてをもとに自分で学期ごとの目標冊数を決める。個人の目標冊数の達成率が80%以上となるようにする。 ・各教科の学習の中で、教科書に掲載されている本や関連図書の並行読書を推進し、読書の質の向上を図る。 		
保健健康教育	心身ともに健康に学校生活を送ることができる児童の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会のテーマに取り上げ、親子で心の健康増進に取り組めるよう働きかける。 ・年3回程度、心の健康アップ週間を設け心の健康を保つための方法を知り、身につけられるようにする。 ・ほけんだよりや掲示でアサーション、ストレス対処法など心の健康についての情報を発信する。 ・運動する楽しさを知ってもらう目的と体力の増進を図るためスポチャレに取り組む。その中の「8の字とび」で、標準記録を達成できるようにする。 		
GIGA理想スクール構	学習用端末の活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・授業、帯タイム等で、学年に応じた学習用端末活用スキルを身に付けさせる。 ・校内研修等で、タブレット端末の活用について共有する。 ・学期ごとにメディアスキルの定着状況を確認する。 		
家庭・地域社会との連携	郷土を愛する心の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいも・イチゴ・大根・米の栽培を通して、地域の方々との交流を大切にし、地域に根付いた体験的な学びを展開する。 ・地域の農業や人を調べ、発信する学習活動を通して地域や郷土に親しみ大切にする心を育てる。 		

学校関係者評価	
---------	--